



 erex

イーレックス株式会社
第22期 定時株主総会
2020年6月29日



The background is a collage of four images: top-left shows a dam and reservoir; top-right shows industrial machinery; middle shows a construction site with cranes; bottom shows a city skyline at night with a network overlay.

企業集団の現況 (2020年3月期事業報告)

世界共通の課題解決に向けた協調が不可欠



海水温度上昇



森林火災の発生



異常気象の発生

化石燃料から再生可能エネルギーへの転換継続



持続可能な社会の実現

電力業界の状況

- ▶ 昨年の冷夏、今冬の暖冬により需要は低迷
- ▶ 電力小売事業における過当競争による収益悪化
- ▶ 新しい事業環境に対応できない事業者再編
- ▶ 原発の停止（テロ対策）



業界全体の先行き不透明感⇒新電力の再編
低炭素社会への期待の高まり⇒再エネ拡大への加速

2019年7月よりEGMによる販売開始

 erex

TEPCO



egm

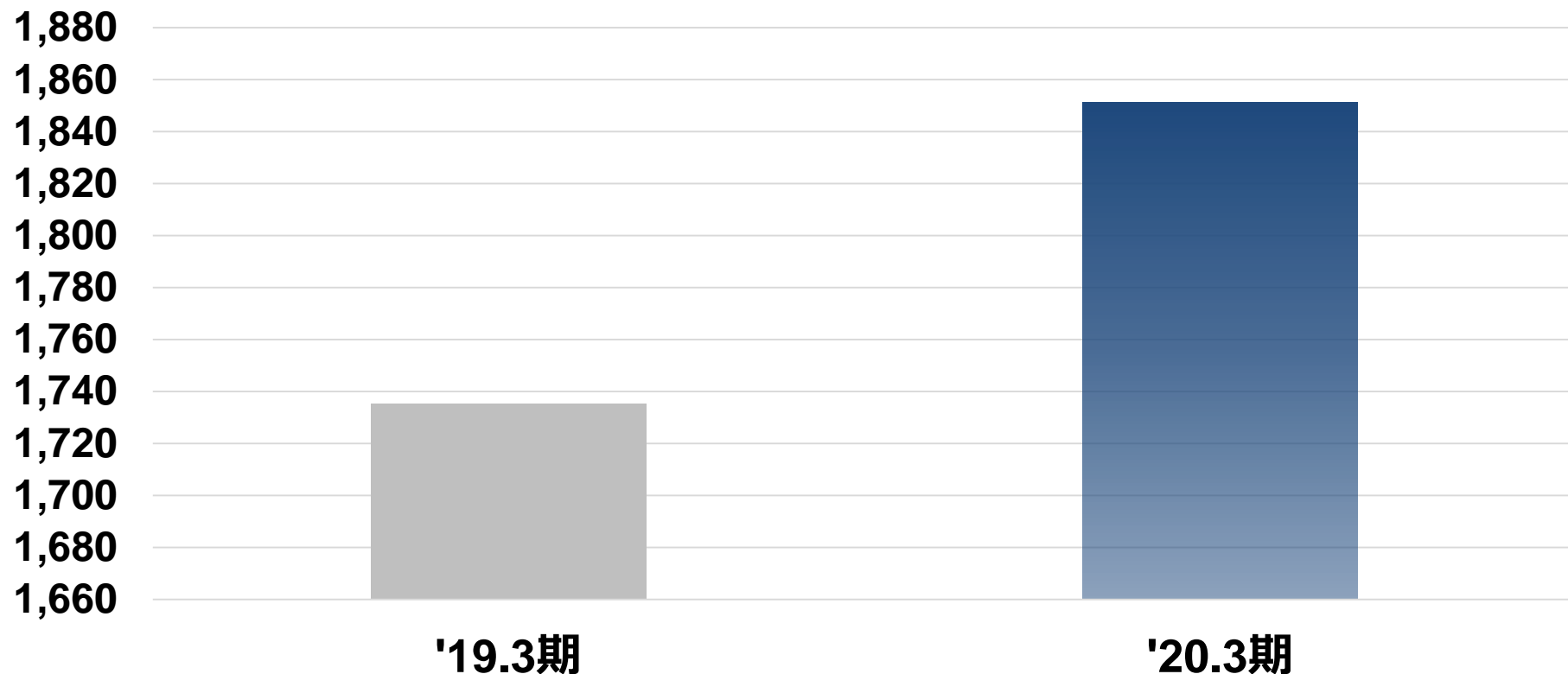
- ▶ 使用量の大きい需要家への営業強化
- ▶ 直販の強化
- ▶ CO2フリープランの販売拡大

販売電力量

約185万MWh（前年同期比+6.7%）

(GWh)

■ '19.3期 ■ '20.3期



パートナーとの共創による販売強化

新規パートナー



既存パートナー



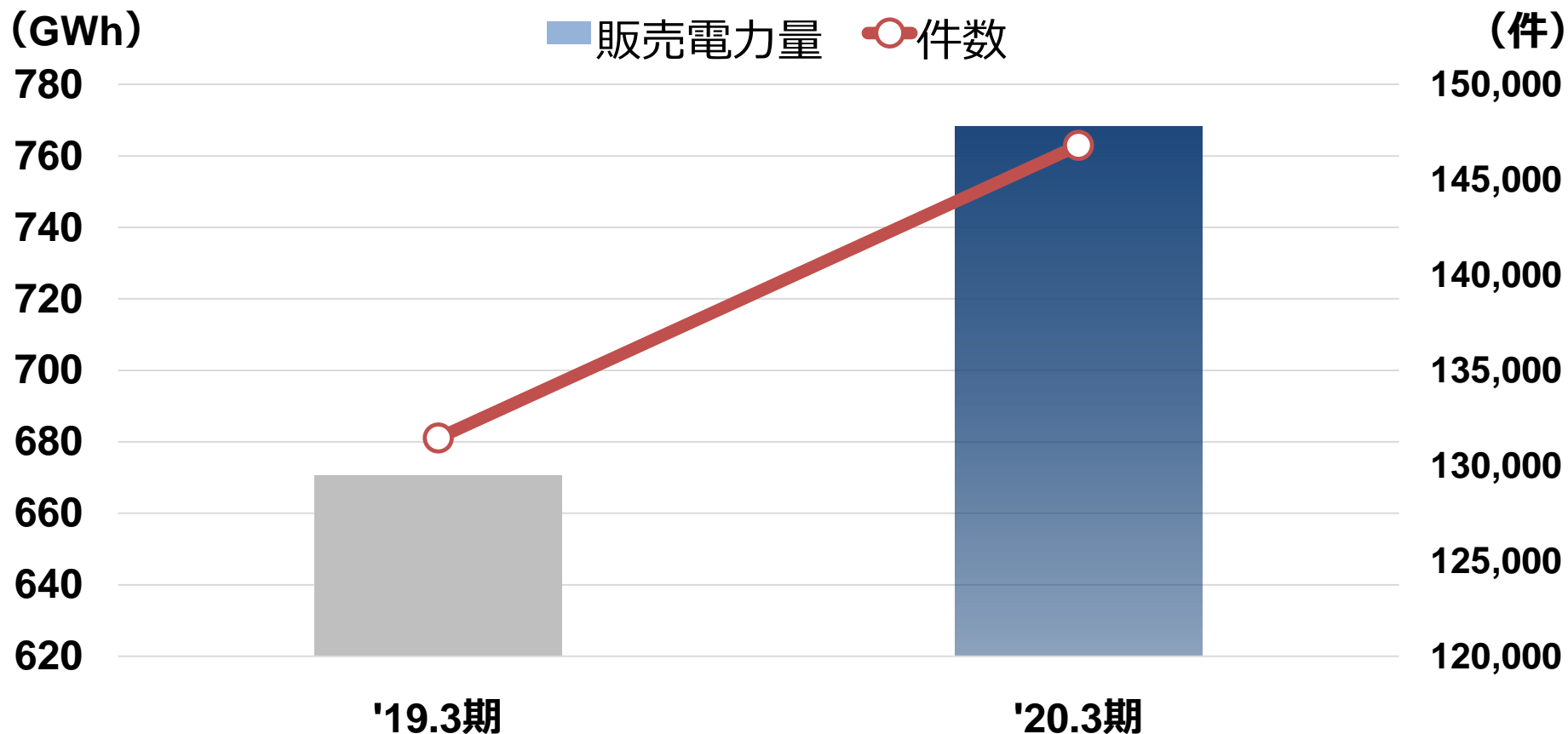
LPガス/石油事業者



- ▶ 「健康」をキーワードとした新たな販売チャネルの開拓
- ▶ 既存パートナーにおける販売強化の支援施策実施

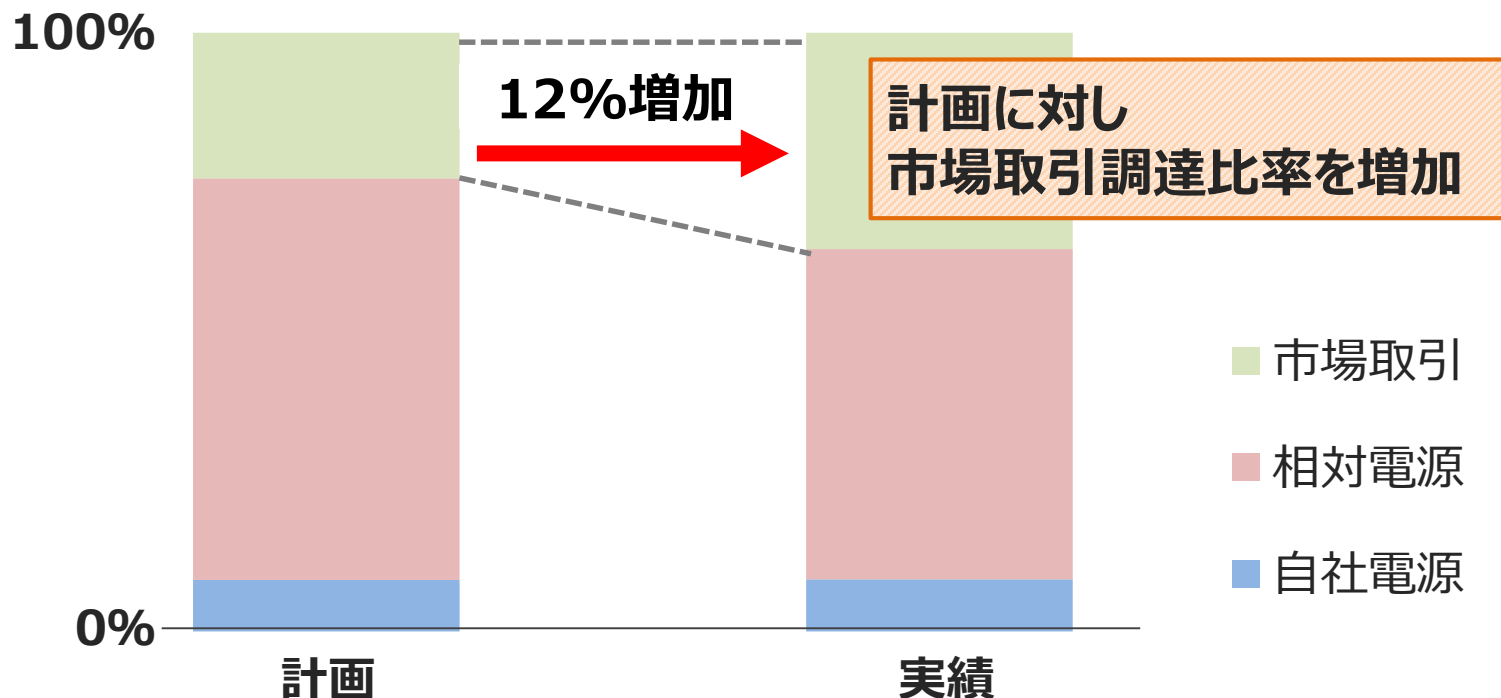
販売電力量 約76万8千MWh（前年同期比+14.6%）

供給件数 約14万6千件（前年同期比+約1万5千件）



安価な市場取引を活用し、調達コストを低減

調達割合実績



冷夏、暖冬等の影響により、市場取引価格は低位に推移

佐伯発電所



九州電力の指令を受け、
出力抑制を実施

高い稼働率を維持

土佐発電所



設備点検発生

稼働は低下

豊前発電所



大船渡発電所



2020年1月より営業運転開始

発電所4基体制による安定的な収益基盤

中城発電所（沖縄うるま市）

完成予想図



**2021年7月
営業運転に向け、
計画通り進捗**



ボイラ鉄骨工事（2020年3月撮影）

2024年稼働開始目標に向け、準備工事着工

完成予想図



事業概要

 **erex**

出資

SPHP社（合弁会社）

電力販売契約
（PPA35年）

カンボジア電力公社

パーム椰子殻（PKS）に加え木質ペレットの調達を開始

PKS

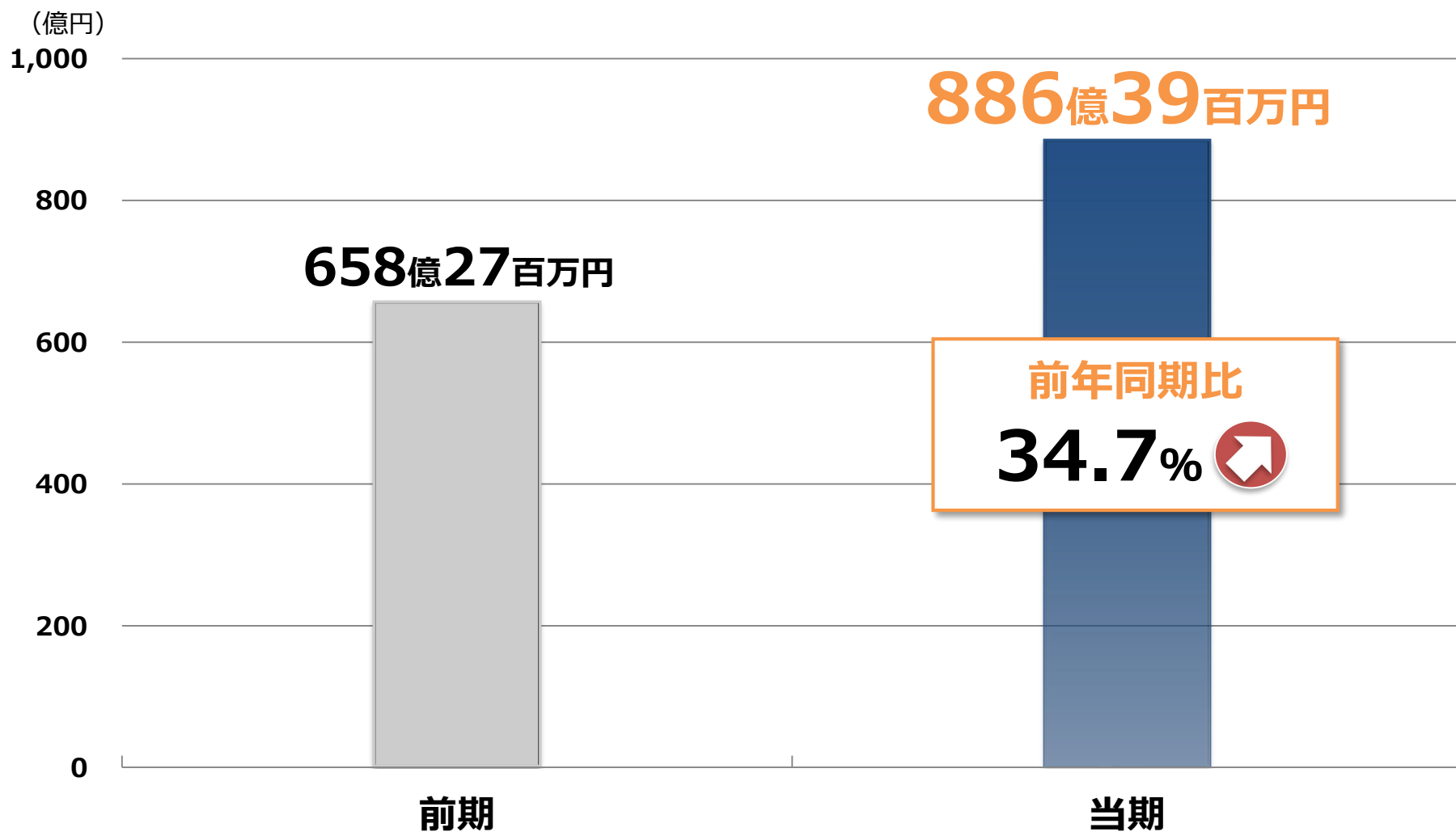


木質ペレット

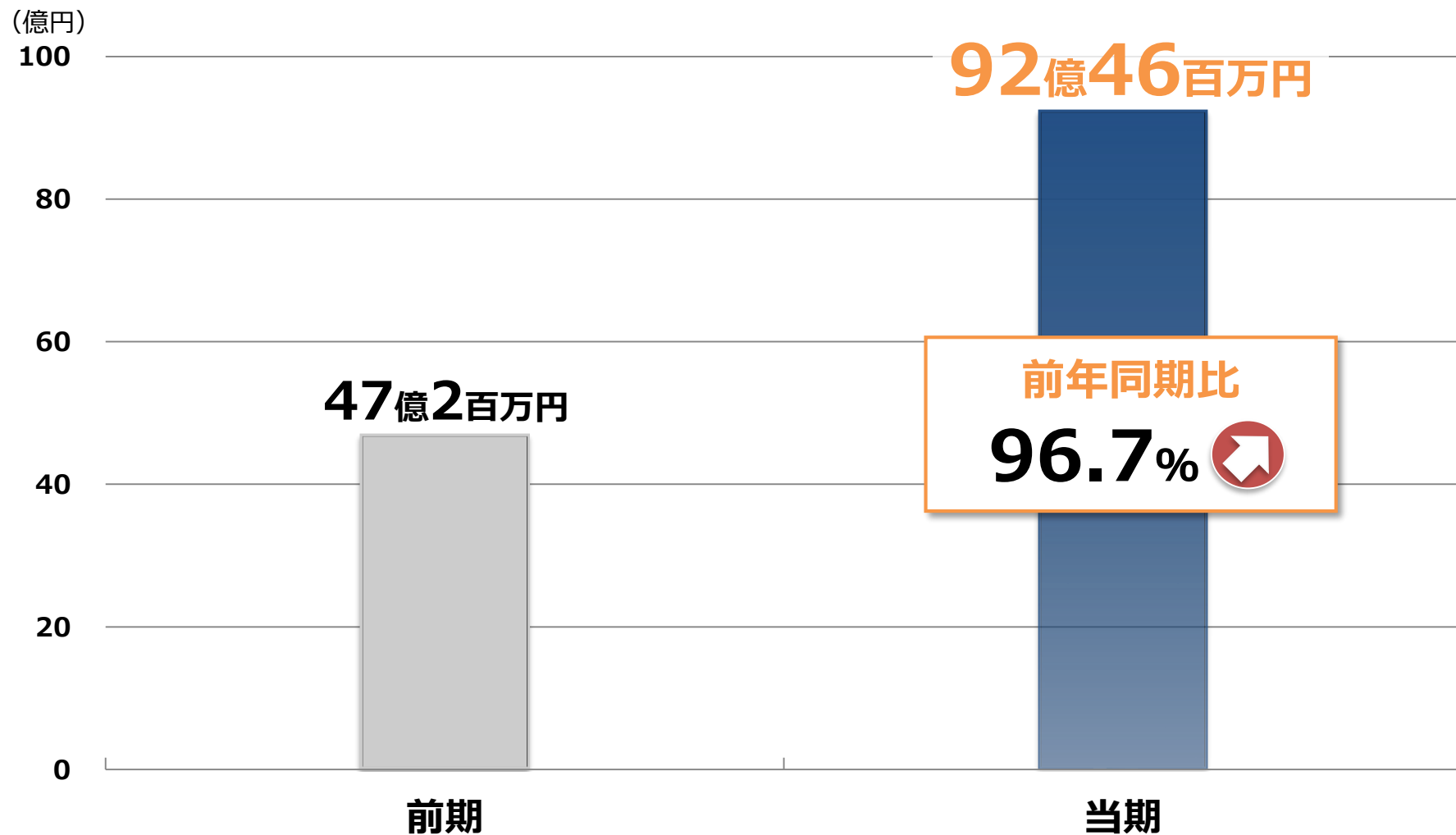


- ▶ バイオマス燃料調達量の増加
- ▶ 商社調達に加え、自社調達を拡大

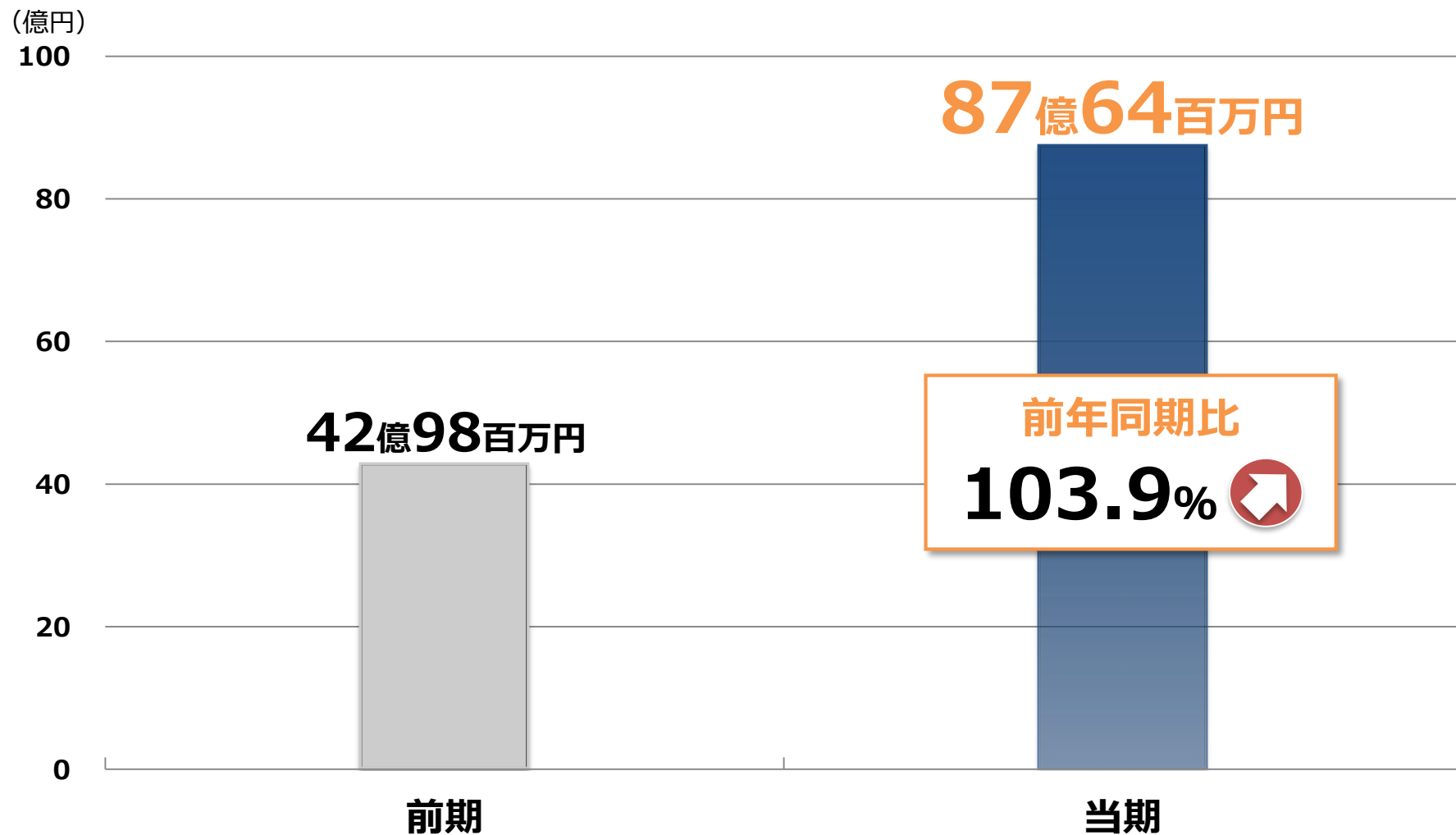
売上高



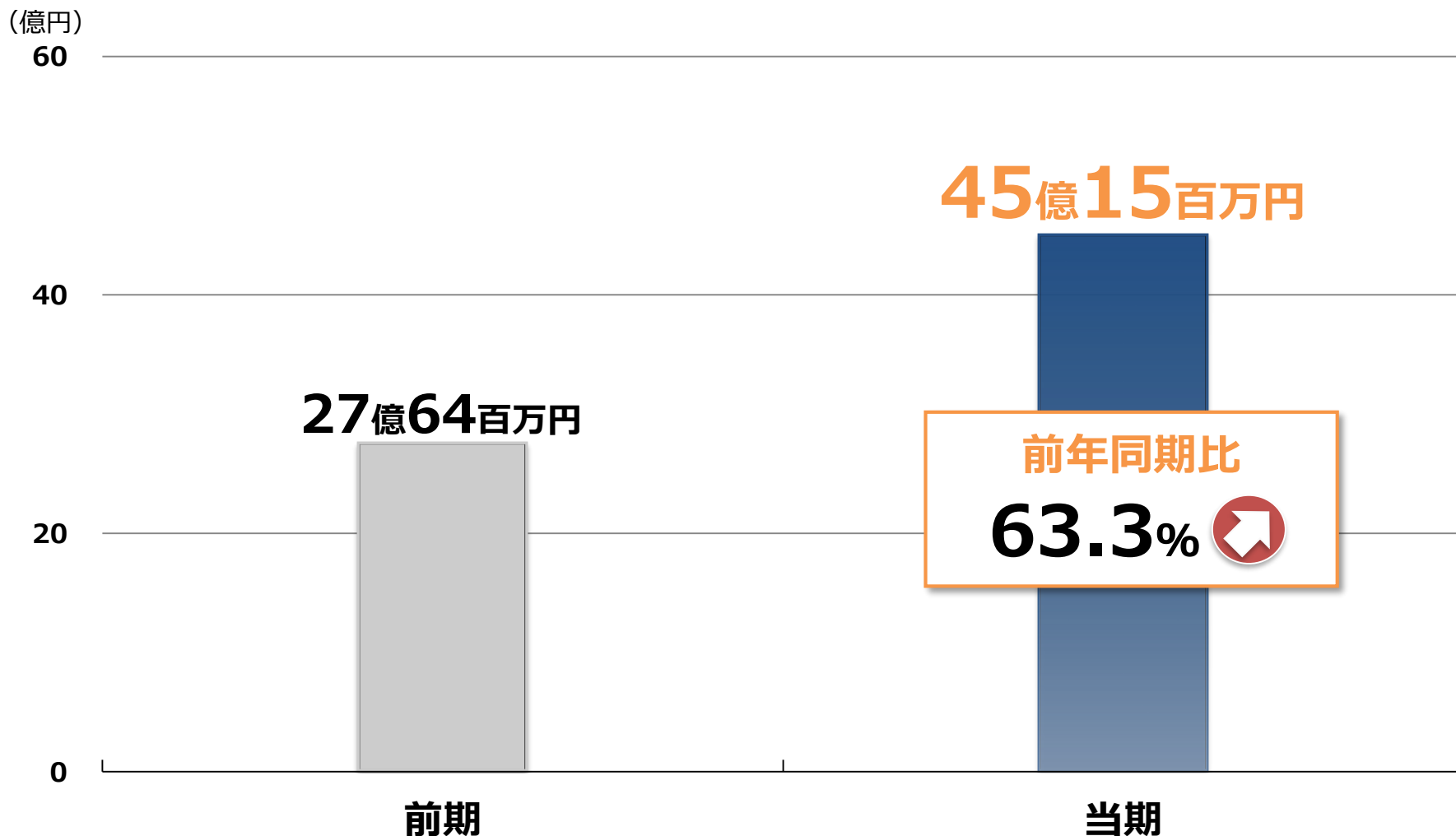
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



連結貸借対照表

資産合計 1,047億80百万円 前年度末比 297億55百万円 

流動資産 362億87百万円 前年度末比 140億86百万円 

固定資産 684億93百万円 前年度末比 156億70百万円 

負債合計 705億17百万円 前年度末比 213億17百万円 

流動負債 258億64百万円 前年度末比 85億76百万円 

固定負債 446億53百万円 前年度末比 127億40百万円 

純資産合計 342億62百万円 前年度末比 84億38百万円 

売上高

886億39百万円

前年同期比

34.7% 

営業利益

92億46百万円

前年同期比

96.7% 

経常利益

87億64百万円

前年同期比

103.9% 

親会社株主に帰属する
当期純利益

45億15百万円

前年同期比

63.3% 

**過去最高の売上高、経常利益を達成
(売上高886億円、経常利益87億円)**

**販売電力量も過去最高
(約2,619GWh、前年同期比+8.9%)**

市場取引の活用による電源調達コストの低減

新バイオマス発電所の稼働 (豊前、大船渡)

The background is a collage of four images: top-left shows a dam and reservoir; top-right shows an industrial facility with a tall chimney; middle shows a close-up of a steel truss structure; bottom shows a city skyline at night with a network of glowing lines overlaid.

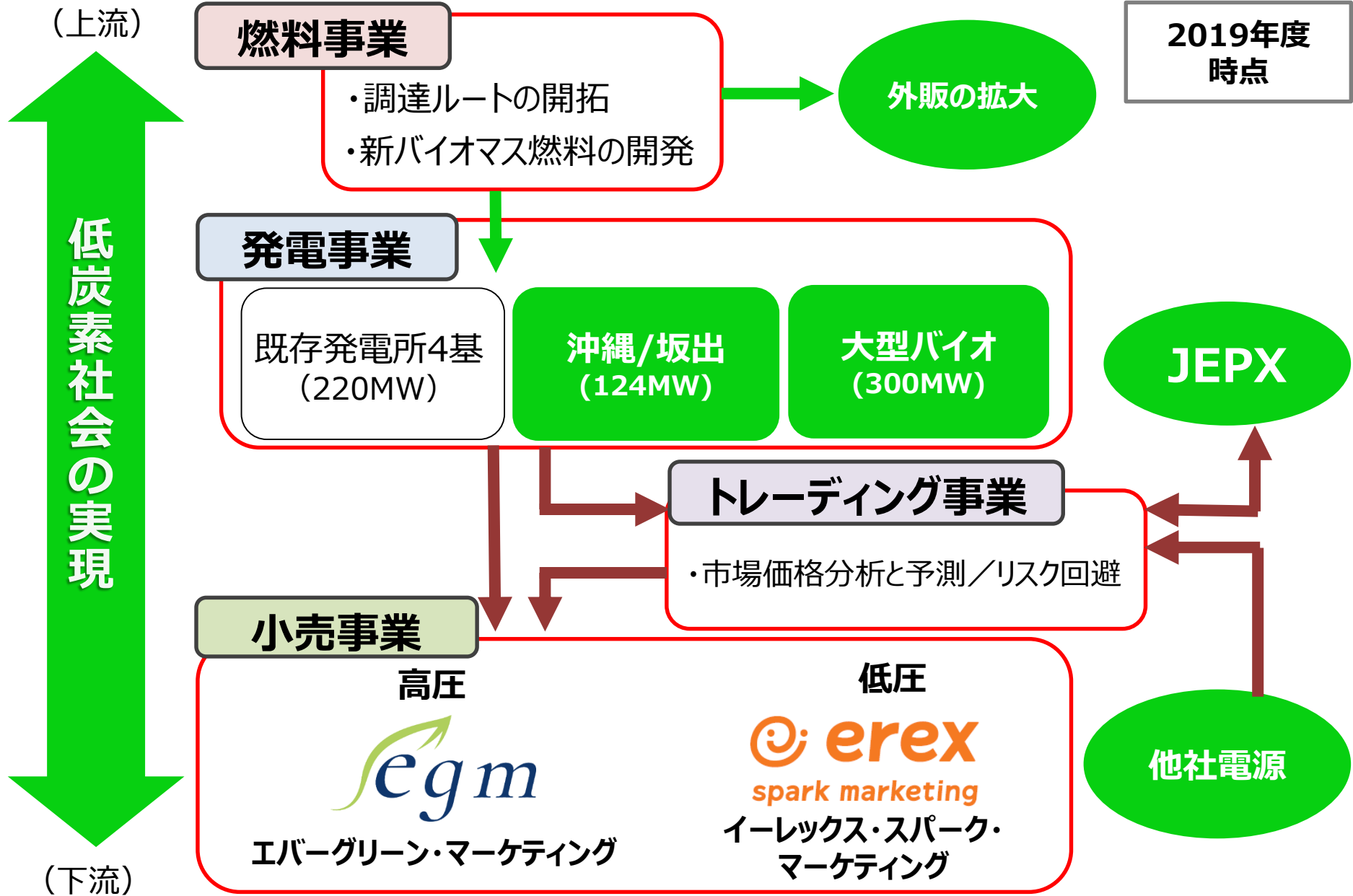
今後の経営戦略 (対処すべき課題)

コロナ禍においても売上高、純利益増を計画

(単位：億円)	2020年 3月期 (実績)	2021年 3月期 (計画)	増減率
売上高	886.3	958.8	8.2%
営業利益	92.4	83.1	△10.1%
経常利益	87.6	84.6	△3.4%
親会社に帰属する 当期純利益	45.1	50.8	12.6%

■ コロナ影響により、販売電力量は1年を通して5%減を織り込み

4つの収益基盤：再エネ事業の強化



2021年3月期、2022年3月期の業績推移イメージ

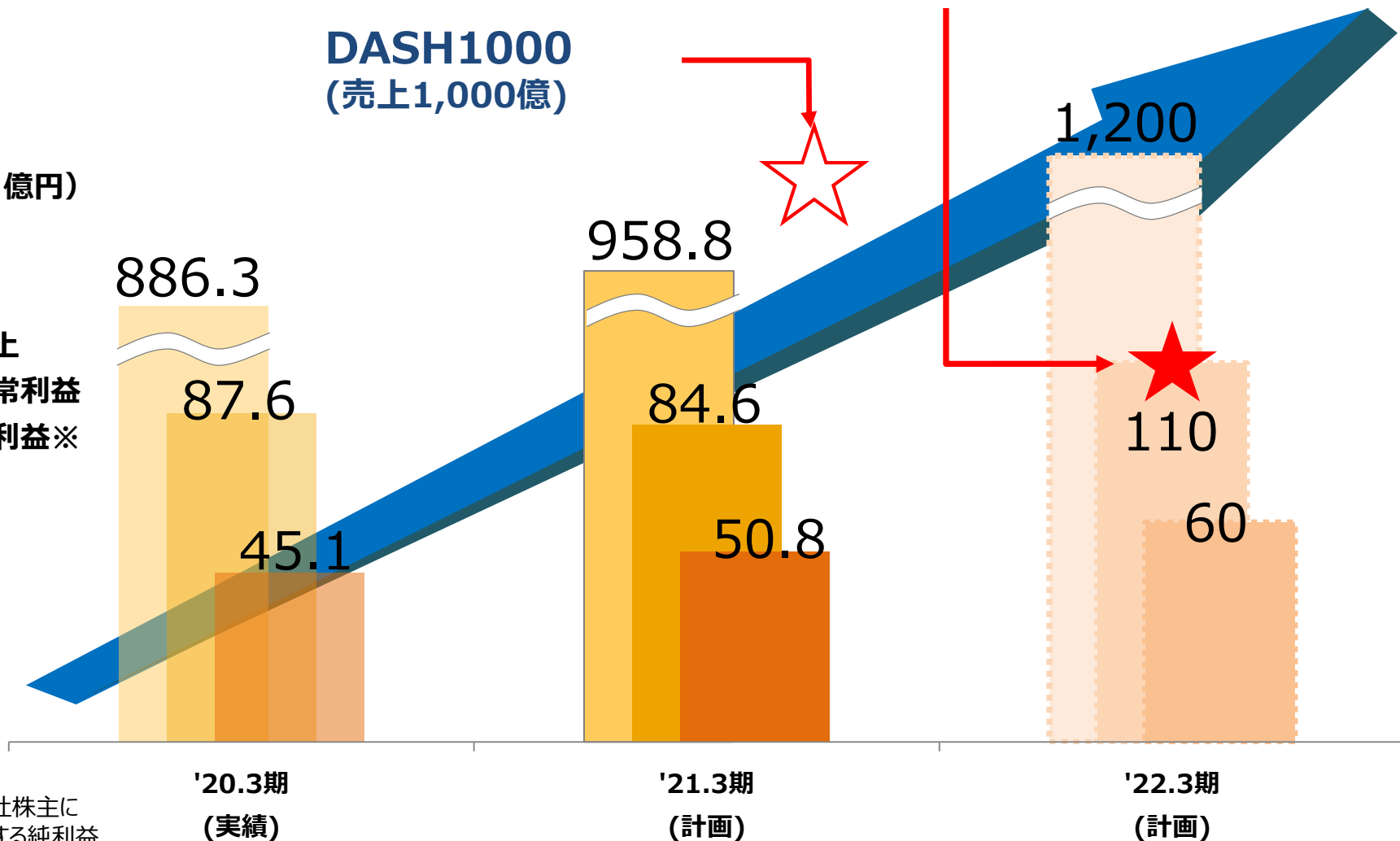
ADVANCE100

(経常利益100億)

DASH1000
(売上1,000億)

(単位：億円)

- 売上
- 経常利益
- 純利益※



*親会社株主に
帰属する純利益

による更なる販売強化(低圧合流)

M&Aによる小売事業の拡充

蓄電池事業への参画

カンボジア水力発電プロジェクトの推進

世界最大規模の大型バイオマス建設の取組

燃料事業拡大に向けた積極的投資

低圧販売「エバーグリーン・リテイリング」発足



- 低圧のお客様へも環境に配慮したサービスを提供

更なる企業価値向上と競争力強化

中計目標低圧顧客30万件の達成を目指す



完全子会社化



6万件

+

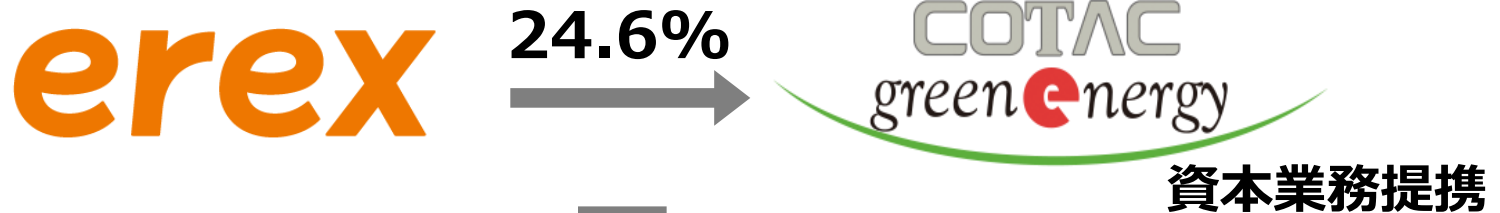


エバーグリーン・リテイリング株式会社
15万件

- ズーム買収により、当社グループ低圧顧客数は21万件へ
- 当社の豊富な電源・システム・人材提供による収益底上げ

M&Aによる一層の小売事業の拡充

事業パートナーと蓄電池事業を全国展開



販売チャネルを活用して全国展開

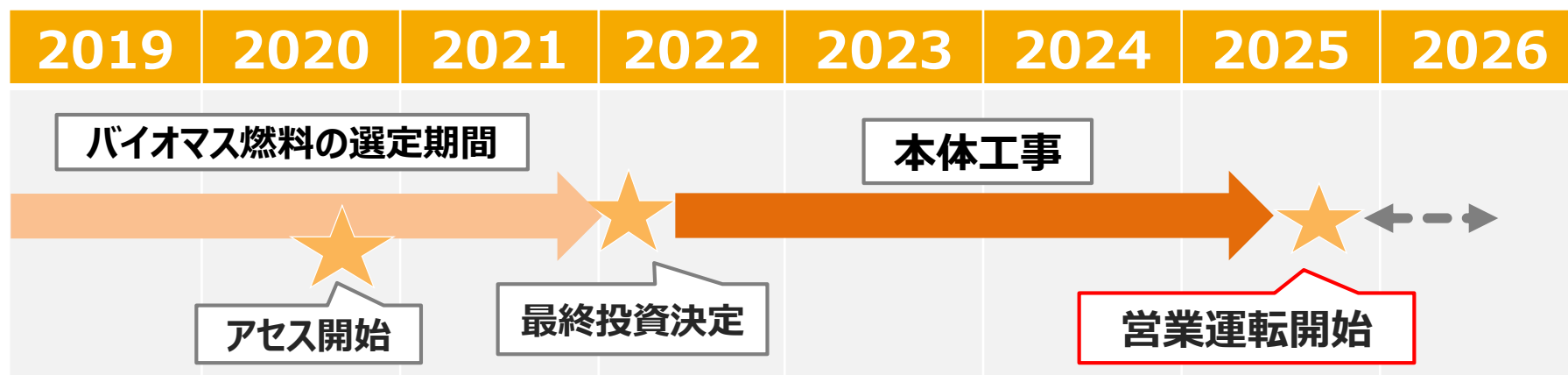
法人・個人のお客様

■ 停電対策



一層の企業価値向上、社会貢献を目指す

系統連携確認後の環境アセスの実施

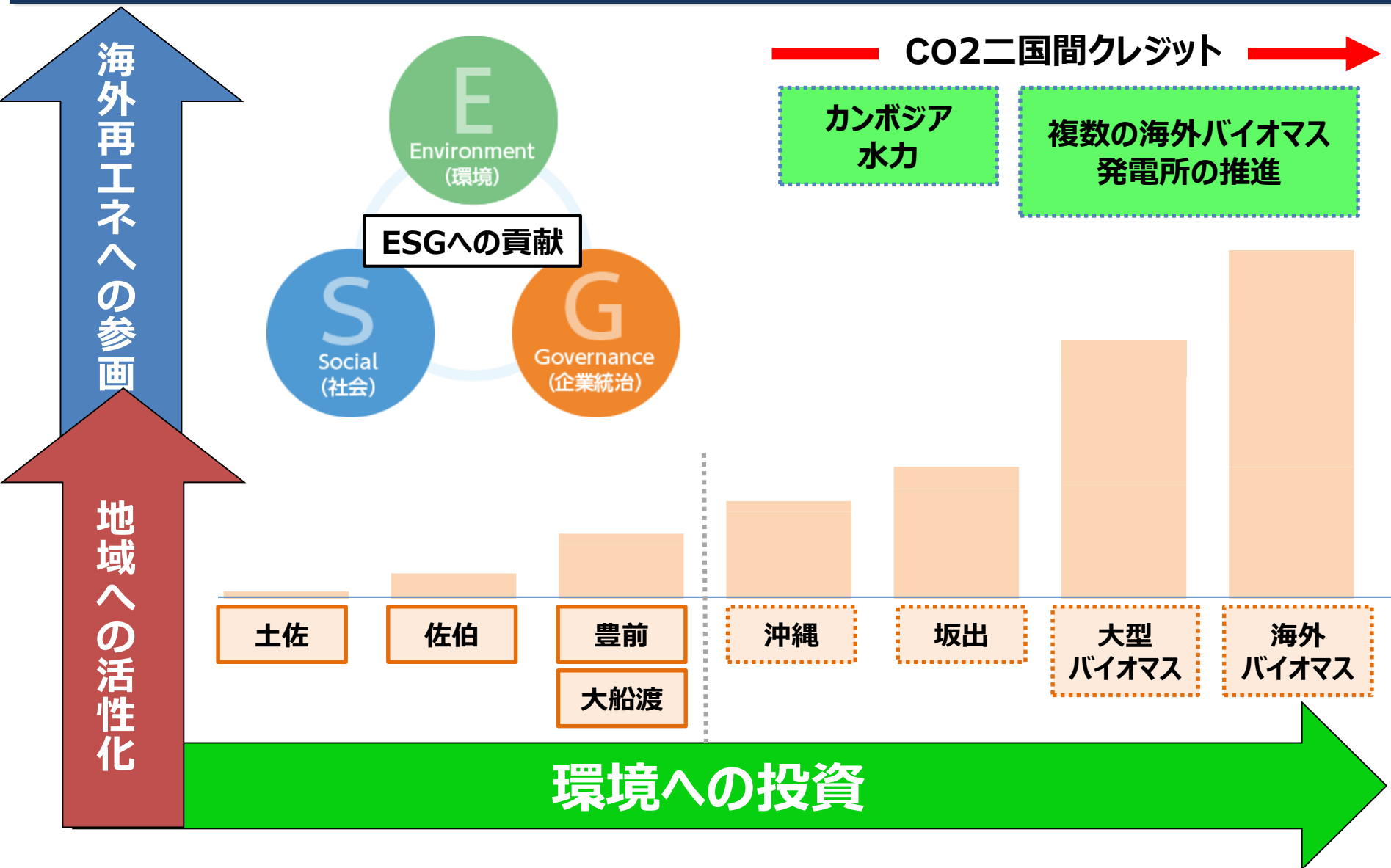


Non-FIT大型バイオ実現に向けた進捗

- 建設予定地ほぼ内定
- 系統接続の検討
- 木質ペレットまたは新バイオマス燃料を検討中
- 環境アセス開始予定(本年下期)

低炭素社会の実現に向けた展開

再生可能エネルギーをコアに、環境・社会貢献



ミッション

新たな発想と行動力で、未来を切り拓く

バリュー

挑戦とスピード

ベンチャー精神を忘れず、果敢に取り組む

共創

信頼と協力のもと、様々なステークホルダーと共に、価値を生み出す

2030ビジョン

～持続可能な社会の実現のために～

再生可能エネルギーをコアに 電力新時代の先駆者になる



 erex

イーレックス株式会社
第22期 定時株主総会
2020年6月29日

